

【GIGA×指導の工夫・改善】 授業の振り返りによる生徒の学習状況の把握と個の指導の充実

<考察>

生徒の授業の振り返りを共有されたGoogle スプレッドシート上でを行い、他者参照できるようにした。

生徒1人に対してスプレッドシートを2行ずつ割り当て、1行目にその「授業のポイント」を、2行目に授業中に出てきた「疑問」を自分の言葉で入力することにした。

「授業のポイント」については、その達成度を1～5で評価した。場合によっては、赤文字で加筆修正を行った。

「疑問」の記述があった場合は、次の授業の冒頭で取り上げて、みんなで考えたり、授業の導入にしたりして、全体で共有するようにした。

生徒は、他者参照しながらも、自分の言葉で表現することにこだわり、より理解が深める様子が見られた。また、生徒の記述の微妙な言葉の使い方を見て、生徒の勘違いや自身の教え方の偏りを確認することができた。

	A	B	C	D	E	F
1	1-1 振り返り			11/11 音の大小		
33			疑問点			
34	16	授業のポイント	音の大きさは振幅の大きさである。真ん中から外に音が広がる。山の地下と地上にいったら1カウントになる。		5	文句なし！すばらしい！
35			疑問点			
36	17	授業のポイント	・音の大きさは波の大きさで決まる。 ・真ん中から山の頂きまでの幅を振幅という。 ・振動した数は山の頂きから真ん中の線までを1として数える		5	文句なし！すばらしい！
37			疑問点	音の音色や高さは何で決まるのか		
38	18	授業のポイント	音の大きさは 振幅という 山の高さで決まる		4	良い！少し足りない情報が！
39			疑問点			
40	19	授業のポイント	音の大きさは振幅の大きさで決まる。振幅とは、図で表すと真ん中の線から音の山の一番上のごとまでをいう。音はまた図で表すと真ん中の線（はじめ）のところか上下に波を作りまたもとの位置（真ん中の線）にもどってきたところで音一個として数える		5	文句なし！すばらしい！
41			疑問点			

1秒に音源が振動数Hzといは音が多くな音は音が少な

・一秒に音源が振動する位はHz
・高い音は振
・低い音は振
音の綺麗さは

振動数をHzと言てっぺんまでの細かいと高く結局音

音が高ければ音の波の幅多い。また、音が低ければ回数が少ない。一秒間を振動数という。振動数と表す。振動数の数え方から始まった音が真ん中をど

1秒間に音源が